

火災がこわい高根の町

初期消火がカギ

火災シミュレーションをやってみよう

昨夜午前二時ごろ、中野区中野一丁目、『さくら館』付近で発生した火事は、風速六メートルの北風に煽られて、またたくうちに燃え広がりました。

出火三十分で、周囲の百戸が全焼、道路を越えて東中野二丁目に燃え移りました。

出火一時間後、旧高根町の焼失家屋は二百戸に及び、狭い道路は、逃げまどう住民で大混乱となりました。

これは全く架空のお話ではありません。東京消防庁が開発した『火災シミュレーション』が突き付けた厳しい現実の姿です。

季節・時間・風速などを決め、出火地点を入力すれば、時間の経過につれてどのくらい燃え広がるかがわかるようになっています。もし初期消火に失敗したらこうなるぞ』というシミュレーションです。

先日公開された実験で、たまたま高根町会付近がシミュレーションの対象になり、その恐ろしい結果に、背筋が凍る思いがしました。

東京都が発表した『地域危険度マップ』によりますと、中野一丁目は『危険度4』となりました。『5』が最も危険ですから、隣の合った高根は心配です。

ちなみに高根を含む東中野一丁目は、『危険度3』で、決して安心できる状況ではありません。道が狭い、木造住宅が密集している、避難場所が無い、などが危険度評価の基準です。

高根の場合を考えても、大震災で火災が発生しても、まず消防車は来ないときをいいていしょう。身の安全を第一に、避難を優先することも、出来れば『初期消火』の構えも持つことが大切です。

街頭消火器はどこにあるかなど、防火について今以上に関心を持っていたらいいと思います。

振り込め詐欺 中野で頻発

十月八日、中野五丁目(天神自治会)に住んでいる七八歳の女性が、一男を装った犯人にだまされました。前日に「カゼをひいた。病院に行ってくる」と電話があり、次の日に「急性扁桃腺炎だった。ストレスからの病気で、ストレスの原因は、人妻を妊娠させて、相手の旦那にばれたため。お金が必要だ」とATM機から百万円振り込ませたものです。

中野警察署管内では、今年に入ってから三十七件の発生を見ています。

だましの手口は……

- ① 携帯電話の番号を変えた
 - ② 会社の金を使い込んだ
 - ③ 人妻を妊娠させた
 - ④ 電車やタクシーの中に会社の金を忘れた
- などが多く、最近では『振り込め詐欺』から、『母ちゃん助けて詐欺』という呼びび方にも変わってきています。
- いま全国地域安全運動の真っ最中。その中心課題が『母ちゃん助けて詐欺』の発生防止になっています。
- 最近『アベノミクス』に便乗するような形で、「もうかります」電話が多くかかっています。
- 経験上、もうけ話ほど危ないものはありません。
- 電話でだまされないためのヒント……
- ① 留守番電話に設定しておく
 - ② 家族で合い言葉を決めておく
 - ③ こどもにすぐ確認する
 - ④ 「危ない」と思ったら、警察に連絡する

ささえあいの源は町会です。

高根町会は、民生委員さんや地域で活動していらっしゃるみなさんと協力して、見守り活動を行っています。災害時などに不安をお持ちの方、遠慮な町会にご相談下さい。

日常のいろいろなご相談は

東部あいあいステーション

03-3363-2949

月曜～金曜 午後2時～4時

何でもご相談下さい

高根町会 さわやか懇親会

参加費 無料

70歳以上の方、お待ちしております

11月24日(日) 正午から
さくら館1階 いこいの間

おいしいお食事 楽しい語らいと歌

ゲスト 三遊亭歌笑 師匠 演芸 くるみさん

お申込みは、民生委員さん または 高根町会 へ

090-9322-8131 03-3365-4965